

## 自己点検・評価での課題への対応

部局等 データ科学・AI 教育研究センター

自己点検・評価での課題等 (令和6年11月29日実施)	対応策・対応状況・部局長の意見等	対応策に対する進捗状況
<p>基準番号：3</p> <p>数理・データサイエンス・AI 教育プログラムについては、令和4(2022)年度に「データサイエンス実践基礎力育成プログラム」が文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル)」に認定され、令和5(2023)年度に「工学部数理・データサイエンス・AI 応用基礎力育成プログラム」が文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (応用基礎レベル)」に認定されている。また、「国際地域学部数理・データサイエンス・AI 応用基礎力育成プログラム」を構成し令和5(2023)年度より実施している。これらの教育プログラムの充実と普及に向けた対策が必要である。</p> <p>さらに、政府の「AI 戦略 2019」で、高専・大学の全学生の半数が応用基礎レベルを修得することが目標とされていることから、教育学部と医学部においても「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (応用基礎レベル)」の認定を受けることが</p>	<p><u>リテラシーレベル教育プログラムについて</u></p> <p>「データサイエンス実践基礎力育成プログラム」については、令和6(2024)年度までに教育学部、医学部、国際地域学部（工学部以外のすべての学部）において必修化されている。工学部においては、令和7(2025)年度よりすべての新入生が本プログラムを履修できるよう新規科目を開講するための準備等が進められている。</p> <p><u>応用基礎レベル教育プログラムについて</u></p> <p>教育学部と医学部においては、来年度に「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (応用基礎レベル)」の認定を受けることを目標として、既に対応する教育プログラムが実施されており、文部科学省への申請に向けた準備が進められている。工学部においては、教育プログラムを普及させるために、実習・演習科目を充実させる等の改善が行われている。</p> <p><u>自己点検・評価について</u></p> <p>現在実施されている数理・データサイエンス・AI 教育プログラムについては、毎年度に自己点検・評価が行われ、詳細な報告が公開されていることは評価できる。さらに、個々の履修者の学習成果の可視化・定量的評価の方法・実施に関する検討をお願いしたい。</p>	<p><u>リテラシーレベル教育プログラムについて</u></p> <p>工学部においては、令和7(2025)年度より「データサイエンス・AI 序説 (1 単位)」を開講するとともに、「データサイエンス実践基礎力育成プログラム」の修了要件を、「データサイエンス・AI 序説」および「情報処理基礎 (2 単位)」の単位を修得することに変更した。この変更については、令和7(2025)年12月に文部科学省に変更届を提出した。これにより、工学部においてもすべての新入生が本プログラムを履修できることとなった。</p> <p><u>応用基礎レベル教育プログラムについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「教育学部数理・データサイエンス・AI 応用基礎力育成プログラム」と「医学部数理・データサイエンス・AI 応用基礎力育成プログラム」が、令和7(2025)年8月26日に、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (応用基礎レベル)」に認定された。</li> <li>工学部において、教育プログラムを普及させることを目的として、実習・演習科目を充実させる等の改善を行うとともに、それに応じて修了要件を変更した。(他学科・他コース科目の履修を不要とする見直し)</li> </ul> <p>この変更については、令和7(2025)年12月に文部科学省に変更届を提出し、審査結果待ちの状況である。</p> <p><u>自己点検・評価について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6(2024)年度も数理・データサイエンス・AI 教育プログラムについて自己点検・評価を行い、結果報告書をデータ科学・AI 教育研究センターのホームページ</li> </ul>

望ましい。		<p>(<a href="https://www.dsai.u-fukui.ac.jp/">https://www.dsai.u-fukui.ac.jp/</a>) で公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の履修者の学習成果の可視化・定量的評価の方法・実施については、外部のスキルテストの利用を含めた検討を進めている状況である。</li> </ul>
<p>基準番号：2</p> <p>令和 6(2024)年度の組織改編により、データ科学・AI 教育研究センターに教育推進部と研究共創部が設置され、それぞれが数理・データサイエンス・AI 分野の教育、研究に関する業務を行うこと、それぞれに部長を置くことが規程に定められた。教育推進部については部長が置かれ、数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの実施と自己点検・評価を主とした業務が行われているが、研究共創部については部長が置かれておらず、業務についても、必要が生じた際にセンター長および専任教員が対処している状況である。</p>	<p>研究共創部の部長を置くことが最優先である。学内外の教育研究組織及び地域社会との連携協力の観点も十分に考慮した人選が求められる。教育推進部との連携も含めた検討が有効であると考えられる。</p>	<p>令和 7(2025)年 4 月にデータ科学・AI 教育研究センターの専任教員が研究共創部の部長に就任した。学内外の教育研究組織及び地域社会との連携協力、教育推進部との連携を考慮した人選が行われた。</p>